

Maya でモデルを作成して Quest3D に import する



・テストで簡単な床とビルディングを作成します。衝突判定をするため、床は平面ではなく厚みをつけます。 また、床はなるべく広く作成したほうがよいです。サンプルでは Cube プリミティブです。Y 方向から見て、上 面が y=0 より下に来るように移動します。

・Export All で X-File に保存します。その後、Quest3D で Import します。



・Template から、Simple Scene を拾ってきて、import したモデルに接続しなおします。



・Template->01Scene->Cameras->Walkthrough Camera を拾ってきます。



・Basic Camera を Walkthrough Camera に付け替えるのですが、接続の順番に気をつけてください。

1)Camera Logic を Start3Dscene チャネルにつなぎます。

2)Import したモデルの 3D Object チャンネル(たとえば、pCubeShape1)を右マウスクリックして、Create Short Cut を行います。これでショートカットの灰色のチャンネルができます。これを二つ作成して、CollisionObject チャネルに接続します。ふたつあるので一応、両方につないでください。
3)最後に Walkthrough Camera チャンネルを Render チャンネルに接続します。



4)Preview 画面に切り替え、Camera View のカメラアイコンを選択します。Run か Run/Edit モードを選択しま す。このカメラでは、4つの矢印キーを押すと前後左右に移動します。またマウスで移動方向を決められま す。



4)Camera Logic の下は、キーボードでカメラ位置をリセットする仕組みです。Value Vector の三つの Value チャネルが X/Y/Z 座標位置となります。User Input チャンネル(Space 0)をダブルクリックしてください。現在はスペースキーでリセットするようなっていますが、別のキー等に割り当てかえることもできます。

ライトを追加する

左の Channels から Light チャンネルを拾ってきます。Render に追加でつなげます。



Light のタイプには3種類あります。

Light Type	0 directional	平行光
	1 spot	スポットライト
	2 point	点光源

ライトのタイプを指定するには、Light チャネルの Light Type ピンに Value チャンネルをつなげて、それに上記の数字のいずれかを入れて指定します。





ライトの位置の設定には、Section->Animation で Animation 画面に切り替えます。左のタブで Lights に切り 替えます。ライトを選択して、下の3つの Move/Rotate/Scale のアイコンで、それぞれ、移動/回転/スケー ルを行うことができます。

挑戦してみよう!

1) 右マウスクリック -> 右移動 / 左マウスクリック->左移動 /中マウスクリック ->前進、マウスの向き-> 方向という UI に変えてみるには?

2)Template の Walkthrough Camera ODE を使ってみよう。

検証:Mayaのモデルの作り方による違い

- 1)サンプルでは、モデルパーツは単に作成したままで行いました。それぞれのパーツは移動を行い、また、 階層構造化はされていません。
- 2)それぞれのパーツにModify->Freeze Transformationsを行った場合。→Quest3Dで特に変化はないよう です。

3)すべてのパーツを階層構造でまとめた場合。



Quest3D の X Load option for file:で、Flatten hierachy import で行うと変化はありませんが、Hierarchy import にチェックを入れて行うと、Channel Graph に変化があります。



MotionSet というチャンネルが 3D Object チャンネルに接続されています。 ただ、ウォークスルーには特に変化はないようです。

4)モデルをすべて、Combine でひとつにまとめた場合。

#この場合 Window->Hipergraph Scene Hirarchy ですべてを選択して、Edit->Delete by Type->History を行う必要があります。

ウォークスルーには特に変化はないようですが、障害物にぶつかったときの反応が良いような気がします。



また、combine でひとつのモデルにされていても、Maya での Material のパーツによる違いは反映されているようです。